



今年度もよろしくお願いいたします

連休明けの昼休み、小学部の男の子が、泣きながら廊下で担任の先生に強い怒りを向けていました。熱はなく、給食もまあまあ食べたとのこと。静かな別室への移動を拒んでいる、という状況に出くわしました。

どうしたものかと思い「どこか痛いのか教えて」と聞いてみたところ、小さな声で「ミッミー、ミミ、ミミ」と言いながら私の手を自分の耳にもっていきました。

「そっか、耳が痛いのか」と撫でてみると、さめざめと泣き始め、怒りの表情が徐々に収まりました。そして、お母さんが迎えにいらっしゃるまで、担任の先生と別室で静かに待つことができました。

「痛いよ、何とかして」という気持ちが爆発してしまったのかも知れませんが、賑やか過ぎた廊下が辛かったのかも知れません。伝えようとしていて、偉かったなと思いました。

子どもたちの行動が示す発信の意味を、今年度も地域の先生方と一緒に考えていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

地域支援部主任 丹波 舞子

たんば まいこ



園研修アンケート結果から



昨年度は、演習を主体とした新たな形式での園研修を提案させていただき、6園で7回の研修を行いました。園の先生方の御感想を一部紹介いたします。

☆事例を一名にしたことで、子どもの姿を中心に短い時間でその子どもについて充実した話し合いができた。研修体制を整える上で複数の園児の話し合いとなるが多かったのも、一つの視点を置くことで支援についての関わり方を深く、多面的に捉え、学びの場となった。

☆最重度の障害に対して、その子どもの意思を尊重できるような支援がとても難しく感じていた。そのため、その子どもの支援員自身の悩みに寄り添うことができずにいたので、職員で共有する時間がとても貴重であった。

☆気になる子の支援の仕方を学ぶことで、周囲の子の支援にもつながっています。一人一人を知ることの大切さを感じています。

☆これまでと違う支援研修の場をつくるきっかけとなり、とても有意義であった。

今後も、研修のやり方や支援の仕方についての理解が深まっていくように、継続していきたいと考えています。

今年度はバージョンアップした研修を企画しております。ぜひ、御活用ください。



相談・見学等の希望がありましたら、御連絡ください。

秋田県立大曲支援学校

教 頭：佐藤 茂樹（さとう しげき） 川越 真紀子（かわごえ まきこ）

教 育 専 門 監：菅原 咲希子（すがわら さきこ）

地域支援部主任：丹波 舞子（たんば まいこ）

特別支援教育コーディネーター：熊谷 道大（くまがい みちひろ）森 愛子（もり あいこ）

特別支援教育アドバイザー：大沢 貴子（おおさわ たかこ）（大仙市立花館小学校内）

〒014-0072 秋田県大仙市大曲西根字下成沢 122

電話：0187-68-4123 FAX：0187-68-4122

部報「hand in hand」や依頼状の様式等は、大曲支援学校 HP からダウンロードできます。